同じ水道水なのに地域で味が違うのはなぜ？

旅行や引っ越し先で水を飲んだとき、「いつもの水と少し違う？」と感じたことはありませんか？同じ日本の水道水でも、地域によって味や口あたりに違いを感じることがあります。その理由のひとつが、水のふるさとである水源の違いです。水道水のもとになる水は、地域によってさまざま。川やダムの水を利用する地域もあれば、地下水を利用する地域もあります。水が地中や岩石の間を通る過程などで、カルシウムやマグネシウムといったミネラルの含まれ方が変わり、それを表す「硬度」も水の味に影響する要素のひとつです。一般に、硬度が低い水はクセを感じにくく、硬度が高くなると口に残るような味を感じることがあります。でも、水のおいしさを決めるのは硬度だけではありません。ミネラルの量・炭酸ガス・水温・におい・残留塩素など、さまざまな要素が関係しています。たとえば福岡市。福岡市の水道水は、9つのダムや近郊の河川、さらに筑後川から運ばれてくる水など、複数の水源によって支えられています。一方、熊本市の水道水は100%地下水。阿蘇の大地に降った雨などが地中へ浸透し、長い時間をかけて自然にろ過されながらミネラルを含んだ地下水となり、水道水として届けられています。同じ九州、同じ「水道水」でも、その水がたどってきた道のりはこんなに違うんです。蛇口をひねれば、いつでも出てくる水。でもその一杯をたどっていくと、山や森、川、ダム、地下水など、その土地の自然や環境につながっています。先月号では「水源」に注目しましたが、今回はその水源の違いが、私たちが毎日使っている水の特徴にもつながっていることをご紹介しました。旅行などで違う地域を訪れたときは、ぜひ一度その土地の水にも注目してみてください。「いつもの水と違うかも？」そんな小さな発見から、その土地の水のルーツを調べてみるのも面白いかもしれません。



ともだち募集中

公式アカウントはじめました

QRコードで簡単登録

ID検索で登録

@002efvsu

株式会社クリスター

お友だちになると、最新のイベント情報やおトクなお知らせがスマホに届きます♪

ミネラルクリスターに関する

みずたまり

株式会社クリスター月刊広報誌　2026年10月号

発行元：株式会社クリスター
〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前1丁目5−1 博多大博通ビルディング 7F
発行日：2026年 10月 1日

だんだん肌寒くなってきましたね。いかがお過ごしでしょうか。
2026年10月号のみずたまりをお楽しみください。

OREC green lab FUKUOKA へ行ってきました

福岡市中央区赤坂にある「OREC green lab 福岡」へ行ってきました。農や食、自然とのつながりを身近に感じられるこちらの施設。実は、「ミネラルクリスター」をご採用いただいている施設のひとつです。今回利用したのは、2階のライブラリースペース。棚にはお米やオーガニック、農や食にまつわる本がたくさん並んでいて、気になる本を手に取りながら、ゆっくり過ごすことができます。平日のお昼ということもあり、店内には仕事の合間にランチを楽しんだり、ほっと一息ついているお客様の姿も。街中にありながら、ゆったりとした時間が流れる居心地のよい空間でした。今回いただいたのは、「ごはんのお供定食」と「黒ゴマ味のお米ラテ」。素材を活かしたやさしい味わいを楽しみながら、クリスターが実際に使われている空間で、ゆったりとしたランチタイムを過ごしました。普段はなかなか見ることのできない、クリスターが導入されたその先の風景。食事や飲み物、そしてそこで過ごす時間のすぐそばにも「水」があることを改めて感じる訪問となりました。これからも、実際にクリスターが活躍している場所を訪ね、皆さまにご紹介していきたいと思います。





株式会社クリスターは…

建物すべてに、安心で清潔、美味しいミネラル水をお届けしています。
まち全体の水が良い水になることで健康的でワクワクした日々を過ごせます。
私たちはみんながしあわせになる、安心・安全な“良い水のまちづくり”に取り組んでいます。

オールミネラル水化システム“ミネラルクリスター”とは

良質な天然水とは、雨水が良質な土壌を浸透していく中で、充分にミネラル分を含んだ湧き水です。
ミネラルクリスターとは、まさに良質な天然水が生成される過程をコンパクト化したものです。建物の給水元に製品を設置することで、すべての水をミネラルウォーターに改質させます。住宅、食品工場、医療・介護施設等あらゆる施設で利用されています。

今年も福岡マラソンに出展します！

～ゴールの先に、ほっとひと息。クリスターの足湯～

秋の福岡を代表する一大イベント「福岡マラソン」。今年も開催の季節が近づいてきました。クリスターでは、長年にわたり、福岡マラソンのゴール会場でランナーの皆さまに足湯を提供しています。長い距離を走り抜き、ようやくたどり着いたゴール。その先で少しでもゆっくりと身体を休め、ほっとひと息ついていただきたい。そんな思いから続いてきた、クリスター恒例の取り組みです。毎年、足湯にはたくさんのランナーの皆さまにお立ち寄りいただきます。走り終えたばかりの皆さまが足湯を囲みながら、レースの思い出を話したり、お互いの健闘を称え合ったりする姿も、この取り組みならではの光景です。そして、今年もクリスターの足湯がゴール会場に登場します！今回は足湯だけでなく、ゴール後の時間をさらに楽しんでいただけるよう、新しい企画も準備しています。そのひとつが、完走の思い出を写真に残していただくフォト企画。ランナーの皆さまが「走り切った！」という達成感とともに記念撮影を楽しめるよう、クリスターオリジナルのフォトアイテムを制作しています。さらに、ランナーの皆さまのリアルな声を集める「RUNNER'S VOICE」も実施予定。「今日の自分にひとこと！」「走り終えた今、一番したいことは？」など、ゴール直後だからこそ聞ける声を集め、福岡マラソンの思い出を皆さまと一緒につくっていきます。水は、私たちの毎日の暮らしに欠かせないもの。飲むだけでなく、お風呂や料理、洗濯など、さまざまな場面で私たちの生活を支えています。福岡マラソンでの足湯も、「水を通して、人に喜んでもらう」というクリスターらしい取り組みのひとつです。今年はどんなランナーの皆さまと出会い、どんな笑顔を見ることができるのでしょうか。今年もゴール会場で、皆さまをお待ちしています！

福岡マラソン FUKUOKA MARATHON 2026



昨年の福岡マラソンでの様子



“一人一花運動”とは、市民・企業・行政一人ひとりが、 公園や歩道、会社、自宅など、ありとあらゆる場所での花づくりを通じて、人のつながりや心を豊かにし、まちの魅力や価値を高める、花によるまちづくりを目指す取り組みです。
我々クリスターも福岡市推進『一人一花運動』に参画しています。花による彩りと潤いのあるまちづくりを通して、わがまち福岡が豊かになることを願っています。

蛇口から黒いものが！？
水道水に混じる異物の正体とは

毎日何気なく使っている水道水。もし突然、黒い粒や濁りが見られたら、驚いてしまいますよね。実は、水道水に混じる異物にはさまざまな原因が考えられます。福岡市水道局によると、黒い粒状の異物が出る場合、蛇口に使用されているゴムパッキンやゴムパイプなどの劣化が原因となることがあります。また、赤褐色の異物は、水道管内部の鉄サビが水の流れの変化によって剥がれ、流れ出る場合もあるそうです。このように、水の異変は必ずしも水道水そのものに原因があるとは限らず、蛇口や配管など、身近な設備の状態が関係していることもあります。もし水に異変を感じたら、まずは水とお湯のどちらで発生しているか、特定の蛇口だけなのかを確認してみましょう。原因が分かるまでは飲用や調理への使用を控え、管理会社や専門業者などへ相談することが大切です。毎日使う水だからこそ、普段は目に見えない設備にも目を向けてみませんか？

参考：福岡市水道局 HP「水道水中に出てくる異物について」↓



ほっとコラム

10月は「神無月（かんなづき）」とも呼ばれます。暑さも落ち着き、澄んだ空や色づき始める木々など、秋の深まりを感じられる季節です。「食欲の秋」「スポーツの秋」「読書の秋」といわれるように、過ごしやすい気候の中でさまざまな楽しみが増える時期でもあります。一方で、朝晩と日中の寒暖差が大きくなりやすいため、体調管理にも気をつけたいですね。温かいお茶やコーヒー、スープなどが恋しくなるこれからの季節。飲み物や料理のおいしさを支える「水」にも、少し目を向けてみてはいかがでしょうか。
深まる秋を楽しみながら、心も体も心地よく過ごしていきましょう。



クリスター書籍出版しています！

株式会社学研より「生命の水はミネラルバランス」を出版しました。

弊社創業者の水とミネラルへの想いがつまった一冊です。

ネット通販にて販売中！ぜひご覧ください